

# 出雲崎町



## 第477号

平成 29 年 2 月 7 日発行

編集：出雲崎町公民館

TEL 0258-78-2250

出雲崎町民体育館

TEL 0258-78-4700

# 公民館だより 2月号

## 公民館レポート



### 開催迫る！「出雲崎ふるさと展」

2月9日（木）から12日（日）までの4日間、中央公民館講堂を会場に「出雲崎ふるさと展～出雲崎の宝もの～」を開催します。【時間：9時～21時（土・日は、16時まで）】

今回の展示は、「出雲崎宝もの新発見事業」で届け出をいただいた貴重な資料の中から、民具や町の風景を写した懐かしい写真などととも、「宝もの事業」で調査した植物や樹木などのパネル写真も展示します。また昨年度好評だった町内ゆかりの作家の作品も同時に展示します。その他、方言手ぬぐいなどの個人のコレクションや今年度実施した埋蔵文化財試掘調査の出土品も一部展示します。会場ではお子さん向けのクイズも用意していますので、親子で町の歴史を学んでみてはいかがでしょうか。

開催に向け、展示作業を手伝ってくださるボランティアの皆さんの熱気も日に日に増しています。どのような展示会になるかご期待ください。皆様のご来場をお待ちしています。

### 「虐待」の防止の方向性と親子で過ごす経験の大切さ

1月24日（火）、町青少年育成町民会議では、小・中学生の保護者等を対象に子育て講演会を開催しました。

講演では、ストレスを感じる前に少しでも息抜きをする、子どもを預けて一人の時間を作るなど心を落ち着かせることが有効であると説明していただきました。また、自分はダメだと思わずに子どもと一緒にいろんな体験をし、いい親になろうとしないなど愛着と愛情をもって触れ合えば、のちに必ず思い出となる。人として親も子も一緒に成長するという事も教えていただき、今後もノーメディアを実行し、親子の触れ合う機会を大切にしていきたいと実感しました。



講師：新潟県立大学 斎藤 裕教授

### 文化財防火訓練実施

1月26日（木）の「文化財防火デー」にあわせて文化財防火訓練を実施しました。今年度は石井町にある県指定文化財「良寛堂」を訓練場所とし、火災の通報訓練や文化財の持ち出し訓練、訓練参加者による水消火器を使った初期消火訓練を行いました。また、柏崎消防署出雲崎分遣所と町役場消防隊による放水訓練もあわせて行いました。

訓練の最後に講評していただいた柏崎消防署出雲崎分遣所の本間係長からは、「通報時には建物の位置や構造を落ち着いて正確に伝えることや、初期消火の重要性について」お話がありました。

文化財の防火訓練を行うことで、防災の必要性を再確認するとともに、今後も継続して訓練していくことが重要だと感じました。



出雲崎分遣所と役場消防隊の合同放水訓練

## 町生涯学習推進計画の策定に取り組んでいます

教育委員会では、「いつでも・だれでも・だれとでも」学習の機会を持ち、意欲的に学べる町を目指すべく、その基本計画となる「出雲崎町生涯学習推進計画」の策定に取り組んでいます。先日は、町民の中から無作為に選んだ350人の方へ「生涯学習に関するアンケート調査」を依頼しご協力いただきました。今後は、結果を取りまとめ、平成29年度始期から計画を実行できるよう策定し、町民の皆さんに公表いたします。

## 2月の公民館事業開催予定

- 英会話教室 9日(木)・23日(木)      ○ノーメディア・デー 10日(金)・20日(月)  
○出雲崎ッズ 13日(月)・20日(月)・27日(月)      ○書道教室 16日(木)  
○さわスポ教室 21日(火)      ○ちぎり絵教室 23日(木)

## 良寛記念館だより



### 謎の書簡…～良寛記念館ギャラリートーク～

良寛記念館では1月29日(日)、新春企画展『良寛の書簡展』のギャラリートークを行い、17名の方から参加いただきました。

良寛の書を始め、貞心尼書簡、良寛の法友有願画賛の『虎溪三笑』などの解説をしました。解説で最も興味を引いたのは、貞心尼の宛先不明の書簡についてです。その書簡の宛名は「貴方様」となっており、書簡の受け取り手が不明。また書簡の日付と季節が違うことから、今まで謎の書簡とされていました。

その謎であった貞心尼書簡が、栃木県昭和女子大学の田熊信之教授の研究により、貞心尼の外護者であった柏崎の山田静里宛であると断定されたと発表がありました。書簡の日付と季節が違うことについては、ただ前半と後半と違う二つの書簡が繋ぎ合わされただけ、という単純なものであったと解説をすると、参加者からは笑いがもれました。

なお、『良寛の書簡展』は3月31日(金)まで開催しています。町から配布された良寛記念館チラシ『町民無料券』を利用し、ぜひ、ご来館ください。



貞心尼書『宛先不明』書簡の説明を聞く参加者。

詩歌とは違い、より直接的な生活様相が分かることが、書簡の魅力だと思われる。

## 図書館だより



### 中央公民館



**沈黙法廷** … 佐々木 譲 著

絞殺死体で発見されたひとり暮らしの初老男性。捜査線上に家事代行業の女性が浮上した。ワイドショーは「またも婚活殺人か？」と騒ぐ。公判で無実を訴える彼女は、しかし証言台で突如、黙秘に転じた。彼女は何を守ろうとしたのか。



**一〇一教室** … 似鳥 鶏 著

カリスマ教育者・松田美昭が作った全寮制一貫校・恭心学園。高い進学実績、ひきこもりや反抗も治ると話題の学園で健康な男子高校生が突然死んだ。新生・似鳥鶏渾身のダークサスペンス！

### 町立図書館（海岸公民館）



**瘧** … 伊岡 瞬 著

2週間後の妻の命日を機に辞職すると決めている真壁を引き止めるかのように、奥多摩分署管内で連続美女冷凍殺人事件が発生。被害者の左胸には在りし日の妻の左胸にあった痣と酷似した印が…。



**屋根をかける人** … 門井 慶喜 著

「日本人として生きる」ことを選んだアメリカ人建築家の壮絶な一代記。明治末期にキリスト教布教のために来日したメルル・ヴォーリス。彼は 終戦後、昭和天皇を守るために戦った。彼を突き動かした「日本」への思いとは。

※この他の新着図書は、新着一覧を中央公民館・町立図書館（海岸公民館）それぞれに掲示しておりますのでご覧ください。

寒さに負けず心身健康で

公民館長 佐藤 亨

まだ降雪の時節である。昨年、一晩で90cm近くの降雪があった時には、多くの人が困惑した。雪で思い起こすことでは、一昔前ではあるが、旧中永峠を通り長岡に通勤していた頃、雪が降り積もった坂の途中で一旦車が止まると、再発進するのに大変苦労したことがある。後輪駆動の車に乗っていたせいもあるが、勤めの時間に気が急ぐ中、チェーンを着け漸くその場をしのいだことが何回かあった。冷や汗のでる思いを経験された方もおありと思うが、現中永道は別天地だ。余寒、残寒と言われる2月上旬だが、まだまだ油断は禁物である。

さて、「冬のスポーツ」と言えば雪上、氷上でのスポーツが中心と思いがちである。

近年、時代の要請もあるだろうが各地の体育館・各種練習場やプールなど適度な冷暖房完備、水温設定など整備が充実し、体調を管理しつつ様々な種目を年間通じて練習や大会などに専念できるようになった。

先月下旬、渡辺一平選手（19歳）が競泳東京選手権大会・200M平泳ぎで世界新記録を出したのはい例であろう。気温が低いこの時期に好記録が出たのは異例だという。本人も「信じられない、びっくり」と感想を述べていた。たとえ、冬場にトレーニングを十分積んでも、いきなりプールに飛び込んでタイムを競って世界新記録が出るものでもないだろうし、スポーツは一朝一夕に強くなれない。寒い時期でも泳ぎ込みができての結果だ。

スポーツ競技の場合は、特に年間を通して練習できる環境が整っているかどうかが成果を左右すると言われる。従って、アスリート

達は練習地を求めて海外まで出向く。冬眠できないのも分かる。勿論、「環境」とは施設面だけでなく、組織面・指導者の体制や医学トレーニングの普及・活用も含まれる。

今年に入り、「新潟県体育協会創立90周年記念講演会」（写真）があった。重量挙げ選手でオリンピックのメダリスト三宅義行・宏美親子の対談があった。娘の宏美選手が昨年のリオオリンピックで銅メダルを獲得した時の苦しかった胸の内を語るなど、興味ある話も聴いたが、最後に父義行氏が『練習に優るものはない!!練習ができる環境をつくると、必ず強くなる!!』と結んだ。つい、宮本武蔵の「五輪書」に記されている言葉を思い起こした。『千日の稽古を鍛とし、万日の稽古を練とす』。継続した鍛錬を旨とする。その時代を考えればいつも良い環境であったわけではないだろう。そして、現代においても全国各地おしなべて整備されているわけではない。かえって不便、不向きな状況が多い中での鍛錬、忍耐と努力は、メダル同様の価値があることは言葉を待つまでもないところである。



種々環境が整備され、その上、秀でた選手の発掘や恵まれた指導者の下で継続した練習が行えるようになって、若い選手がグングンと力をつけてきた。東京オリンピックを控え、スポーツ界は話題が尽きないし、楽しみである。それはそれとして、自身相応のスポーツやトレーニングを通して、寒さに負けず心身健康で冬場を越したいものである。

〈西乃越句会〉

零戦のごと冬波へ海猫挑む ごめ

川 西 仲野 隆之

老婆棲む庭の山茶花一軒家

川 西 小股 正美知

※1月号に掲載の本間加津さん（てまり団地）の俳句について誤りがありましたので、左記のとおり、お詫びして訂正いたします。

白息のぶつかり合うて魚市場

〈越後出雲崎 渚会〉

足腰を伸ばせば溢る初湯かな

住吉町 磯野 哲

餅花の揺れてお多福笑ひをり

乙 茂 金泉 今日子

〈出雲崎小学校児童の俳句〉

雪つもりさっそくあそぶ子どもたち

4年生 高橋 航汰

真つ白いキレイな雪がふっている

4年生 和田 紡

花ばたけコスモスいっぱい

あるのかな 5年生 小崎 伶菜

赤とんぼ指先止まりつかまえた

5年生 佐藤 美咲

蟲たちが夜に仲間を思い鳴く

6年生 佐藤 久遠

虫たちはどうして夜に鳴くんだろう

6年生 遠藤 祐輝

今月の一句 







## 伝統ある大会の新たな一歩 ～町民卓球大会～



### 大会結果

☆優勝☆

どっこい

○準優勝○

小木ノ城C

△第3位△

沢田

2月5日(日)に町民体育館で第1回卓球大会を開催しました。卓球人口の減少により幕を閉じた町民卓球大会でしたが、部活動やスポーツ教室などで触れる機会も多く、大会開催の要望なども寄せられ、今回新たにスタートを切ることができました。14チームが参加した今大会では、強烈なスマッシュに歓声が沸いたり、思わぬ方向にはねた球を飛び込んでレシーブしたりと白熱した試合展開を繰り広げました。小学生から80歳の方までが台を挟んで共に競い合った卓球大会は町民の交流を深める一日となりました。

## お知らせ



※2月23日(木)午後6時30分～午後9時30分

教室開催のためトレーニングルームは一般利用できません。

## バドミントン大会出場チーム募集!

公民館では「第36回町民バドミントン大会」を開催します。地域またはご家族・ご友人でお気軽にご参加ください。

【日時】 平成29年3月12日(日)  
午前8時30分から受付

【会場】 町民体育館

詳しくは別紙チラシをご覧ください。

## 手袋の落とし物が増えています

町民体育館では現在多くの落とし物を預かっていますが、冬に入り特に手袋の落とし物が目立つようになってきました。子供用から大人の物まで毎週新しい落とし物が増えていきます。帰る際は身の回りの物の確認をしっかりとお願いします。また、心当たりのある方は町民体育館までご連絡ください。

今年度分の落とし物の保管は4月末までです。引き取りに来られる方はお早めをお願いします。

## 2月の「トレーニング教室」日程

2/1, 8, 15, 22日(水) 19:30~21:00

